

靱まちづくりビジョン 第 11 回ワークショップ参加者アンケート結果

- 開催日 2018 年（平成 30 年）3 月 17 日
- 参加者 25 名 （合計：行政職員も含め 43 名）

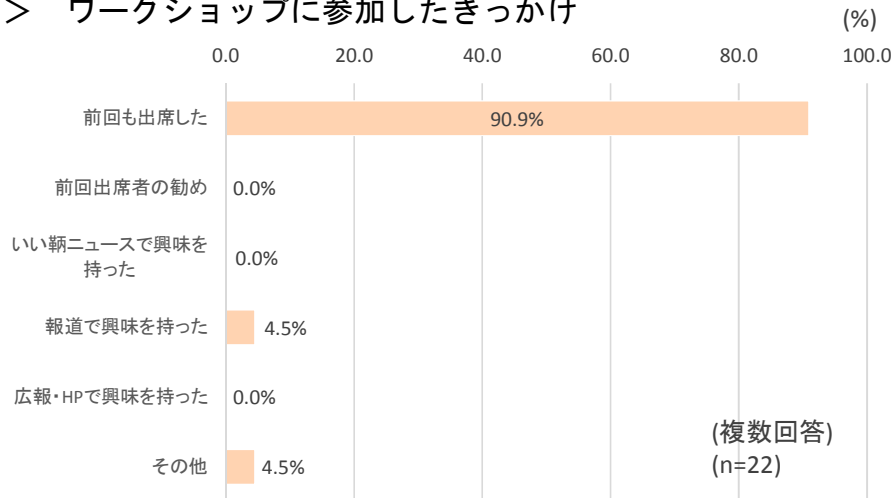
町内会名	参加者数	
御幸一	3	
御幸二	1	
御幸三	1	5
原	2	
鍛冶	1	
祇園	2	
石井	0	
石井浜	1	6
関北	0	
関中	0	
関南	1	
道越	2	
西	0	3
江之浦北	0	
江之浦中	0	
江之浦南	3	
江之浦元町一	0	
江之浦元町西	1	
焚場	3	7
平一	0	
平二	1	
平三	0	1
その他	3	3
合計		25

- 参加者アンケート回答者 22 名 （うち、名前記入者 13 名）
＜年代＞

	人数(人)
10歳代	3
20歳代	2
30歳代	1
40歳代	2
50歳代	1
60歳代	1
70歳代	4
80歳代	1
不明	7
	22

■ 回答内容

<設問1> ワークショップに参加したきっかけ



※その他 (1) : 回覧板

● ワークショップに参加したきっかけは、9割が「前回も出席した」からとしている

<設問2> ワークショップに参加した「雰囲気」などの感想

ご意見	町内会
中学生達が参加してくれるようになり、参加者どうし知り合いになったり、全体の雰囲気も発言しやすいおだやかな雰囲気になったように思います。	祇園
良いと思います	祇園
だんだんたのしくなった	焚場
鞆の方が鞆のことを本気で愛しているからこそ1人1人が真剣になっていて良かった。	焚場
皆鞆のまちづくりのために意見を述べていて、自分勝手ではなく全体の利益を追求していた。民主主義の理想に近く、とても素晴らしい場でした。	原
だんだん参加者が少なくなった残念ではない。	原
今回は特に意見が良く出たようでした。	平二
難しい内容もありましたが、みなさんが真剣に鞆について考えていて、良かったと思います。	御幸一
たくさんの方が意見を活発におっしゃられていたのよかったです。でも、もっとたくさんの方の意見も聞きたいです。	御幸二
回を追うごとに積み上がっていくことを実感できた。	御幸三
前年度と今年度で住民の方々のまちづくりへの考え方が変わっているように感じた。	町外
これからの鞆についての議論をするすばらしい場だと思いました。ただ若い方の参加がだんだんと少なくなっていったのが残念でした。	町外
大旨良かった	-
大変良かった	-
回を重ねる度に参加しやすく意見を出すことの大切さに気づかされた。	-
中学生の発言がすばらしかった。鞆の未来は明るいと感じた。	-
その時々で違いますが、後半は皆さん慣れてこられたようでバラバラの意見から、同じ方向に向いての意見に変わってきたようだ	-
参加者が回を重ねると少なくなったのが残念だった。周囲に声をかけるが参加に対しての敷居が高くなっているとの声が多くあった。	-
積極的に発言しにくい質問が多かったかもしれないです	-
福山市主導のワークショップ。昔の人は市の力もかりず地域が一体だったのかと昔の人の力を感じた	-
意見があまり出ない雰囲気です。	-

＜設問 3＞ 年齢、立場が異なる人どうしの話し合いをどのように感じたか

ご意見	町内会
話したことのない鞆の人の意見が聞けてとても良かったです。鞆以外の人も多く参加され、鞆に興味を持つ人が多い事を実感しました。	祇園
とても良い経験だと思います	祇園
わだかまりはなかった	焚場
難しい話になると、子供は参加できなかった。でも、どんな意見でも受け入れて、話を聞いてくださり、嬉しかった。	焚場
私は大変よいワークショップと思います	原
親しい人ばかりではない中なので、より全体のための意見が出たのかなと思います。	原
鞆中の生徒さんの将来をみすえた発表を聞け安心しました。	平二
貴重な意見をきくことができてよかったです。	御幸一
物事をどう思ふかは人それぞれなので、意見が合わないことがあります。なので、幅広い意見も受け入れられるような環境が必要だと思いました。	御幸二
いろいろな立場の方々との意見交流できたことが今後のまちづくりへのニーズとして受け留められた。	御幸三
とても良い刺激になる。	町外
今後も地域側でこのような場を作られたら良いと思います。	町外
老若男女の考え方のすり合わせができた。行政の方々が気さくに親身に同じ立場(一参加者として)で話ができてよかった。	-
各世代のご意見が聞けて良かった。特に後半は中学生の発言も多く、頼もしく感じた。	-
今までこういう機会があまりありませんでしたが、よい勉強となりました。	-
これからも機会があれば進めてほしい。	-
すてき	-
若い世代の希望にみちた意見を大切にしたいと思った	-
色んな意見があり、前向きな議論ができたのではないかと	-
上の方から知恵を頂けて、勉強になりました	-

＜設問 4＞ 「鞆まちづくりビジョン」に不足している内容

ご意見	町内会
スペースがあるので、もう少しだけWSの写真を入れても良いと思いました。図表を見やすくしたり、P.7以降の風景・お祭りの写真にもキャプションを入れれば鞆以外の人や高齢者にも伝わると思っています。	祇園
大変よい。文句はない。	原
強いていうなら超長期的な数値目標。100年後、200年後にどういう町にしたいかということ。今回の話し合いに関しては充分すぎる内容だと思います。	原
もう少し色々な方が発言できるようにしたほうが良いと思います。	御幸一
企画通りに進まず、時間が押したり、内容通りにもいかないことがあったので、臨機応変にできるように考えるべきだと思います。	御幸二
取り組むべき具体例を少しもり込んでも良かったのでは？	御幸三
少し長い。	町外
決定したビジョンへの取り組み方法	-
骨組みが出きたので命あるものに	-
経過のところで、「いい鞆ニュース」のことが記載がなかったが、鞆全体の取り組みである意味で「いい鞆ニュース」の存在意義をしっかり記載すべきと考える	-
お問い合わせ先	-

<設問 5> 「まちづくりビジョン」を作り上げたことでの成果や達成度

ご意見	町内会
貴重な機会を頂きありがたかったです。ワークショップの開催がなければ、なかなか住民どうしや行政の人と同じテーブルで鞆について話す事はなかったと思います。	祇園
ここからスタートなので楽しみたいです	祇園
自分の意見を言えてみなさんから共感をもらったので、すごく嬉しかった。	焚場
多少不安です。	原
ビジョン作成は始まり、スタートラインなのでこれからどう走り出すかが重要。	原
閉鎖的な男性上位の鞆町組織において、誰でも参加できたワークショップは参加して時代の流れを感じました	平二
少しでも、まちづくりにかかわることができたのなら、来た意味があったと思います。	御幸一
たくさんの意見が出ることで、少しずつでも着実に鞆は変わってきています。それを実行という形で示していきたいです。	御幸二
このステップアップが今後の行動につながっていくと信じています。	御幸三
とても良いビジョンであり、他のまちにみせても誇れるものだと思う。	町外
自分たちのやる気、未来像、大事にしたいこと、理想、自分を知ることができた。	-
今後の旗振にかかってくると思います。	-
これからです。むずかしいですね。	-
改めて鞆の住民でよかった。	-
やはりワークショップを通じて、住民の意識が少しずつ前へ向いていったことが非常によかった	-

<設問 6> ワークショップ開催前と現在でのまちづくりへの意識の変化

ご意見	町内会
鞆の問題点や住んでいる人の思いを知ることができたので、自分自身ができそうな事からやってみようと思うようになった。	祇園
町のことをもっと知りたいと思う様になりました	祇園
たくさんでた問題点を1人でも早くできる範囲で改善していかないといけないと思った。	焚場
大変あります。参加者が少ないので残念です。	原
参加者のほぼ全員が前向きに考え始めたのかなと思う。私も含めて。	原
“自分に何ができるだろう”という気持ちが持てるようになりました。	御幸一
案がなくなり、正式に定まったことは、私にとって鞆の未来を考える1つの題材となりました。	御幸二
大好きな鞆のまちを客観視できました。この気持ちを行動にうつします。	御幸三
前年度と今年度で住民の方々のまちづくりへの考え方が変わっているように感じた。	町外
自分の考え方が整理された。年輩の方の考えが冷静に聞けた。	-
ビジョンに文章化されたことで、進むべき方向性がはっきりする。	-
視野が広がった。	-
鞆のよさを再認した。人、つながり、文化、風景。	-
大いにあったと思う	-

<設問 7> 韮まちづくりビジョン実現に向けて、地域で必要な取り組み

ご意見	町内会
ワークショップのような住民が集まれる場が今後も定期的にあると良いと思います。	祇園
いろいろな人を巻き込むこと。	祇園
空き家問題。高齢者の方が安心して通れる道をつくる	焚場
どのようにしたら今後の課題。韮の住民が本気になるや。	原
・空き家情報の共有。災害時の声かけ等、有事の動きの確認。 ・話し合いの場への積極的な参加	原
韮こども園の毎回の支援をいつもありがたく思っています。	平二
「韮らしさ」「今までこうやってきたから」という考えも大切だけど、よりよい町になるためには新しいことをとり入れることも大切だと思います。	御幸一
今回、まだ実行の意が固まらなかったのもう一度、韮で話し合ってみたらいいと思います。	御幸二
各部会にたち上げて、住民の意見を吸い上げながら1人でも多くの人の活動につなげていくこと。	御幸三
やはりまずはインフラの改善計画を具体化すべき。	町外
地域側でしっかりと議論を深めていくことが必要だと思います。	町外
各町内会長が空き家について密に集まり町内に持ち帰り伝えていく。家が売れないのは、その場に自分の存在を置いておきたいのではないのでしょうか。それが解消される優しいアイデアを！	-
韮で活動されている各種団体が横につながることで。	-
若い人が参画出来る雰囲気作り	-
みんなが同じ方向に向き真剣に進めていこうという意識が必要だと思います	-
日常的にもっとつながりをつくっていかないと災害時に協力し合えないと思います	-
誰かが先頭になって動かずキーマンが必要ではないか	-

<設問 8> その他、ご意見、ご質問

ご意見	町内会
11回参加してのまとめ。はじめはこの話し合いがなんになるんだろうという思いがあったが、今日示されたビジョンを読んで今までの話し合いが有意義であったと思えた。ビジョンは韮の進むべき道のまさに住民がつくりあげた憲法ある。行政も住民も韮の未来のためにこのビジョンを心していかなければならないと思う。	関南
どんな韮にしたいのか、みんなが熱い気持ちをもって、話し合いができて、良かった。あらためて、韮に生まれて良かったなと思った。	焚場
行政にはいつも感謝しています。ありがとうございます。韮者が本気になるや。	原
今後の話し合いの場、この後についての話し合いが足りていなかったのではないかと。せっかくビジョン作りをしたのだからこれをもとに優先順位をつけて考えていけたら良いのではないかと？	原
以上の意見は全部8ですが・・・	平二
これからも、中学生や小学生などが「韮」のこれからについて発言できる所をつくっていただけたらうれしいです。	御幸一
私たち中学生の意見はまだまだ至らない点がありますが、どうかこれからも意見の言える場をつくって下さい。	御幸二
福山市の職員の皆さま、CCSの先生方のお陰で今日の幕開けをむかえることができました。本当に感謝しています。ありがとうございました。	御幸三
このようなワークショップは韮、しいては福山市に歴史に残ると感じている。参加できたことを光榮に思う。	町外
仏壇に関しては仏壇会館を設け(葬儀場、法事ができる場所)にしたらどうでしょう。子どもたちに「死」を学ばせるよい場になると思います。自分が生きていることを学ばせる。「死」=「生」。そこへお寺の住職(韮の財産だと思います)が講師として法をするなど。	-
子ども園の保育スペースを確保しないと空き家対策しても他の地域へ行ってしまふ	-